

みやざきの様子



地域子育て支援センターみやざき



子育て支援センターみやざきでは、毎月30組前後の親子さんが新規に登録されます。来所するきっかけも「引っ越してきたばかりです」、「そろそろお外に出ようかなと思って」、「お友達に誘われて」など様々です。そして、利用の目的も「家で二人きりで過ごすよりも、支援センターで過ごした後は、よくお昼寝をするんです」、「イベントが楽しみで来ました」、「外で遊んでたのですが、暑くて避難してきました」など様々です。

利用するきっかけや目的も様々ですが、支援センターの中では、誰のお子さんでも、「ちょうだい」「どうぞ」ができれば喜び、「はいはい」「あんよ」ができれば喜び、小さい赤ちゃんが来れば「かわいいね」、久しぶりに会うと「大きくなったね」と、お子さんの成長を来場している皆さんと一緒に喜び合っています。児童館の中の小さなお部屋の支援センターですが、気軽に遊びにきてください。(久保)

ひなぎくさんの絵本紹介



●「ランパンパン」

インドみんわ マギー・ダフさいわ ホセ・アルエゴ/アリアヌ・ドウィエ

山口 文生 やく 評論社

(吉満)

見た目がそっくりのクロドリ夫婦がいました。声の良いのは亭主ですが、間違えて女房の方が王様に捕まってしまう。さあ、女房を取り戻すためにいさましいクロドリ亭主はお城へ乗り込んでいきます。弱い者が知恵を使って苦境をのり超えていく様子は痛快です。またランパンパンという太鼓の響きも子どもたちに勇気を与えてくれることでしょう。(吉満)

※7月の唱歌は、「七夕」です。

手作りおもちゃを作っちゃおう♪



ペットボトルのフタを3個つなげて作った「がらがら」は、赤ちゃんの大人気。にぎる・なめる・ふる・・・中には小豆が入っているので、音もなるんですよ。最近では、電子音のおもちゃが多いので、やさしい音です。また、1歳前後になると小さい穴に上手にいれるようになります。お子さん成長も教えてくれるんですよ。

そんな「がらがら」をいつでも作れるように、支援センターには、カラフルなビニールテープを常時そろえています。ペットボトルのフタを集めて作ってみてください。また、七夕の飾りや、夏休みに向けて、その他、ペットボトルの工作なども、自由に工作できるコーナーを作るのでお楽しみに。

学生ボランティア

夏休みを利用して、学生ボランティアさんが、みやざきの支援センターに来ます。学生さんにとって、赤ちゃんに触れ合う体験は、とても貴重です。どうぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。

8月3日(木) おっぱい相談

予告

卒乳や、おっぱいの事って、話してみると、お母さんのお子さんに対する思い、時には、お父さんを巻き込んだ子育ての姿が見え隠れします。みやざきはお馴染みの楠本助産師さん(助産院バースハーモニー勤務)に、おっぱいの事を話してもらいながら、お子さんのこと、子育ての事などの話をしてもらいます。

お知らせ*miyazaki*

支援センターみやざきのHPから、「お知らせ」をクリックすると支援センターみやざきのブログ

「お知らせ*miyazaki*」

をご覧ください。日頃の様子を写真で紹介したり、コメントしているので見てくださいね♪

行事などの様子を写真などで紹介しています♪

※掲載されたくない方は、スタッフにお声かけください。

